

# 江戸にゃんこ 浮世絵ネコづくし

2023年4月1日（土）～5月28日（日）

【前期4月1日（土）～4月25日（火） 後期4月29日（土・祝）～5月28日（日）】※前後期で全点展示替え

## ふり向けば、猫 —ネコと過ごす江戸ライフ

浮世絵に登場する様々な動物のなかでも、ペットとして最も多く描かれたのは猫でした。さらに猫は、踊ったり学校に通ったりする擬人化された猫、化け猫に、メス猫の一代記や、ネズミ除けのお札としてまで、あらゆる姿で表現されています。

本展では、歌川国芳の名品はじめ、歌川広重や月岡芳年らの優品、さらには子ども向けの「おもちゃ絵」など、猫を題材とした多彩な作品をご覧ください。かわいらしくてユーモラス、時に神秘的な浮世絵の猫の魅力を存分にお楽しみください。

## もしかしてネコ展史上最強!? 一国芳の名作大集合

本展では、魅力的な猫の浮世絵を描いた歌川国芳の作品を多数ご覧いただけます。前期には、国芳作品のなかでも人気の「猫の当字」シリーズ全5点を、また後期では貴重な名作「其まゝ地口 猫飼好五十三疋 上中下」と「たとゑ尽の内」をともに展示いたします。国芳の名品が大集合する、かつてない、貴重で贅沢な機会をお見逃しなく。

## 猫の物語を楽しむ

現代では猫の登場する漫画などが人気ですが、江戸時代も猫が活躍する説話や小説、歌舞伎の演目が好評を博していました。本展では、化け猫はもちろん、武道の極意を説く古猫や、母親の仇を討ち御殿奉公にあがるなど、波乱の猫生を送った「おこま」や「おたま」を主人公とした小説まで、猫が主役や重要な役を担う作品をご紹介します。江戸っ子に愛された「猫の物語」をご覧ください。

## 江戸の猫ブーム —メディアミックスをしかける

時は天保12年（1841）、国芳が売り出したのは猫を役者の顔で描いた団扇絵「猫の百面相」。これが人気となると、その団扇を用いた歌舞伎が上演されます。またこの頃国芳は、当時話題の曲鞠の芸人を猫に置き換えた擬人化作品、さらには翌年刊行の始まる『朧月猫の草紙』の挿絵も手掛けます。国芳が集中して猫の擬人化作品を生み出した天保12、13年制作の作品も多数ご紹介し、江戸の「猫の浮世絵」ブームもご覧いただけます。

## 猫と遊ぶ —おもちゃ絵の世界

「おもちゃ絵」とは子ども向けの浮世絵で、幕末から明治にかけてさかんに作られました。猫の世界を題材にしたものも多く、当時は猫は子どもたちに人気だったようです。猫たちは銭湯に行ったり、おそばを食べたり、人力車に乗ってみたり——。今回ご紹介する猫のおもちゃ絵はたっぷり約40点。その愛らしい世界に遊んでみてはいかがでしょうか。



(1) 歌川国芳「猫の当字 かつを」(前期)



(4) 歌川国芳「流行猫の曲鞠」(前期)



(2) 歌川国芳「其まゝ地口 猫飼好五十三疋 上中下」(後期) ギャラリー紅屋蔵



(3) 歌川国芳「猫の百面相 (荒獅子男之助ほか)」(前期)



(5) 歌川国芳「流行猫じゃらし」(後期)



(6) 歌川国芳「朧月猫の草紙」6編上下表紙(前期)



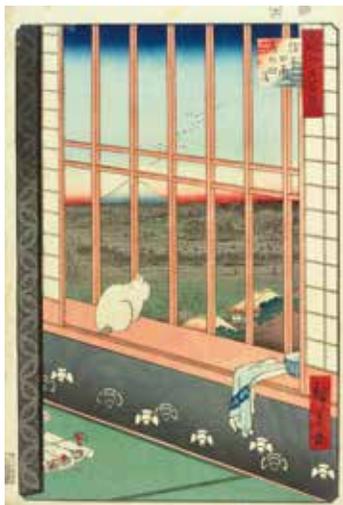
(7) 歌川芳藤「小猫を集め大猫とする」(後期)



(8) 歌川国芳「山海愛度図会 ヲいいたい」(後期)



(9) 月岡芳年「古今比完鑑 薄雲」(前期)



(10) 歌川広重「名所江戸百景 浅草田圃西の町詣」(後期)  
太田記念美術館蔵



(11) 歌川国芳「鼠よけの猫」(後期) ギャラリー紅屋蔵



(12) 歌川芳藤「新板猫の温泉」(前期)



(13) 作者不詳「大なまつねこのたはむれ」(後期)

※所蔵先を記していないものは全て個人蔵

タイトル 江戸にゃんこ 浮世絵ネコづくし

英タイトル Cats in Ukiyo-e

会 期 2023年4月1日(土)～5月28日(日)

【前期 4月1日(土)～4月25日(火) 後期 4月29日(土・祝)～5月28日(日)】

※前後期で全点展示替え

開館時間 午前10時30分～午後5時30分(入館5時まで)

休館日 月曜日、4/26-4/28(展示替えのため)

入館料 一般 1200円 大高生 800円 中学生以下無料

アクセス JR山手線 原宿駅(表参道口)より徒歩5分

東京メトロ千代田線・副都心線 明治神宮前駅(5番出口)より徒歩3分

問合せ 050-5541-8600(ハローダイヤル)

公式サイト <http://www.ukiyoe-ota-muse.jp/>

公式Twitter @ukiyoeota

会場・主催 太田記念美術館 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1-10-10

TEL 03-3403-0880 FAX 03-3470-5994

E-mail [om@ukiyoe-ota-muse.jp](mailto:om@ukiyoe-ota-muse.jp)

展示担当学芸員：赤木美智 広報：金塚さくら



太田記念美術館  
公式サイト



画像申請・取材  
の申込はこちら